

刊夕日九十月七



定価一冊五銭... 発行所 常磐毎日新聞社

人間のねうち

佐田 至弘

なんとしても出来ないことは、仕方がない。出来る事だけは全力をつくした。あとは大自然に任せることとする。ミレーの晩鐘に見るよき農夫はわれ／＼の手本である。

自分の心はいつも、ひろ／＼とさせておくのがよい。明治大帝の御製にも。あさみどり澄みわたたりたる大空の廣きをおのが心ともがな。

と仰せられてを。そこに平和と健康と力が生れる。自分の心をつまらぬことに、こだわらしてをくのは勿體ないこと、思ふがよい。

ノート 米國最近一ヶ年の宣傳費用は新聞廣告だけで實に四億五千萬ドル、

人間のねうち、人間の權威といふものは、個人を輕蔑することを感じられるものではない、すべての人が、いきること、お互に尊敬し

合ふこと、めい／＼にもつて生れた生命を尊敬することによつてのみ得られるものである。

他人を尊敬するのは、その他人のうちに自分の生命を生かして呉れるものがあるからである。自分の生命を如何に生かさうかとしてゐるかは、その人の尊敬する

明日の献立

- 【朝】味噌汁 牛蒡に付昆布佃煮
【晝】やつこ豆腐
【晚】南ばんむし 鯛汁 うしほ煮

る人を見ればわかる。その人の内心の要求のない人は何を見ても感心しない人である。

現代は本氣で、ものを求める人が少なくなつた。またほんとうに他人の生命に役立つほどの人も少なくなつた。そしてみんな何處へ行くのかわからないやうな生活をして、疲れ切つてをるのだと思ふ。

◆常磐文藝◆

短歌

堀江 渚 鐵の土洗ふと堰きし岩か

げの濁はすまず水濁れにけり 裏見せてゆらく柿葉にうづくまる蛙の面の落付きてゐる

母が焚く外風呂の火のおどろへに繩なふ手もと暗くなりたり きりぎしを行くにせばまる山の峽極まる處橋かゝりゐる

ひつそりと糞の匂ひして 鶏小屋のまはり汚し雨上りつつ 若くさき谷の窪地の水のみて今日も飯はむ木を伐りにきて

道にいでて馬糞さらへる たらちねの親しきかもよ夏のあさあけ 屋根にぬりしタールの乾きゆく匂したか感ず晝べとなりて

冷しうどん添へられてある食卓に林檎は青し朝光浴びて 飼馬の呑み餘し水すてたれば夕顔の花やみにゆらぐも

夜更けて門を出づればからたちらに螢火二つ光つてゐにけり 鳴きしきる樹をゆきふればふためきてつぶての如く逃げし蟬かな 風音の絶ゆる間ありき庭へに明らかに鳴くこほろぎの聲

味自慢 大衆向... 氣分本位の店 喜多家の 喜多八

◎是非一度御来店を！ 平町丸新デパート

外科 X光線科 性病科 意隨院入

平町田町

安齊外科醫院 電話四七五番

喜多流謠曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會 平町田町九六 詳細は本會へ御問合せ下さい 電一

専門 産科 婦人科 花柳病科 入院隨意

井坂醫院 平町田町 電話五五九番

毎度御引立を... 藤寅では例年通り 冷たい美味しい飲料

相初めました是非... 夏の夕の御散歩歸へりに御立寄り下さい

迅速 出前 不凍寅 電話一四一番

すばらしい新型の

婦人子供服豊富

一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。

平町二丁目

山家メリヤス店 電話六〇五番

氷は魚清!!

水の御用命は

電話四六七番へ

魚清氷卸部

支店 江名町築港内 電話四六九番

米を作る農家に

食ふ米がない

平町に其數百戸を算す

山崎農會長拂下げ申請

平町農會ではけふ農會長山崎與三郎氏の名を以て農林省に對し政府米三百十六俵(百二十六石四斗)の拂下げを申請した。

理由とするところは平町の農家は兼業農家即ち日雇の傍ら小作農を営むといふ細民階級によつて多數を占められこれら階級は日

々の食糧に缺乏勝ちで平町農會の調査に依れば一年約五ヶ月間の長期に亘つて飯米不足を來すもの百戸を算する状態が判明した

更に現在の米價高は之等の人々を饑饉に陥れる憂ひあるので幾分でも安價な政府米拂下げを供給したいといふにある

模範動員 當日順序

奉公袋や服装

平町の注意

平町では非常時の折柄本月下旬平町在住の在郷軍人八百名の模範動員を実施すること既報の如くであるが當月は

午前七時

より平第一小學校に招集を命じ嚴重なる服装検査に次いで勇壯なる閱兵、分列式を行ひ町長の挨拶、訓示、講評あつて縣社參拜を了つて同校講堂に於いて在郷軍人會本部派遣の猪狩陸軍中將の時局講演會を開き

軍人勅諭の捧讀、宣言決議その他を行ふ管であるが平町では當日に備へて在郷軍人(豫、後備及び第一補充兵役)に對し所在明かなること、奉公袋の整備、服装は軍服、外被青制服、青年團服、簡素なる洋服を着用すること等を希望してゐる

磐女庭球好成績

庭球部選手瀧——大越組、熊——渡邊組は昨日午後一

三年一之瀬正子 C四年長瀬のぶ R G四年白土智恵子 L G四年大柴枝

球場地均

大會前準備

警中では愈々警下中等校野球大會も三日後に迫つたので本日午前十一時より三年以下の全生徒徒出動球場の地均し作業を行つた

警中軍大敗

入山との對戰

警中對入山炭礦野球戰は昨日午後二時半から折柄の雨を肩して決行入山先攻で開始したが石川投手コントロールに難色あり敵の猛打に潰滅して十二對四で警中軍大敗した、此の日警中軍の小野捕手缺場して士氣振はなかつた

警女籠球 選手決定

二十七日出發

既報來る二十八日福島女子師範學校グラウンドに於て開催され縣下女子中等學校籠球大會に必勝を期し猛練習中の警女籠球部では愈々來る二十七日午後五時四十分で新妻、西川兩教諭引卒の下に大會目指して出發するが出場選手は本日左の如く決定された

R E 四年河野イチ L F

納涼音楽演奏

小學校では來る三十日午後六時から同校講堂に於いて一般避暑客歓迎の爲め納涼音楽演奏會を催す

更生の意氣昂る

縣技手も出席して

關係村當局が協議

(既報)九年度經濟更生指定村指導協議會は十九日午前九時から平町團體事務所で開かれた、縣農務課から成島、川邊、の三技師

労働者の救済に

再登録を受付ける

平町農會では平町居住の細民階級を救済する目的を以て夏井川改修事業その他に労働就役せしむべく過般就労希望者の登録を實施し目下それ〴〵就労救済の實績を擧げてゐるが當時不在其の他に依つて登録洩れとなつた者から再登録希望の聲があるのに鑑み來る二十一日から三十一日まで一日間再登録を受付けることになつたが就労希望者は

小學校打合せ

既報平町第一、第二、第三各小學校打合せ會は本日午前十時より第一小學校會議室に於て開催、學校内規改正の件、精動兒童表彰に關する件、八、九の兩月に於ける行事等に就いて種々協議した

鮫川漁業組合は

魚類増殖に必要

古川町長等出縣猛運動

鮫川漁業組合設置問題はその後設置反對運動が擡頭し漁業權の獨占を企圖するものであるとの逆宣傳専らなので目下縣當局でも之れが是非に就き頭を痛めてゐる模様である爲め植田町長古川傳一氏外田人、勿來、山田、川部各町村長は魚類の増殖を圖つて魚類捕獲の永續性を確立し大いに山間部町村の更生を計るものであるとの趣旨で當局に對し設立認可促進の陳情をすべくけふ出縣した

珂柳井町大字柳井三七七 一ノ一 忠一氏二男岡部 忠二郎氏長女澄子さん △古鍛冶町二三 當時愛媛 縣喜多郡大洲町大字西大洲甲二四二七 小島徳雄氏三女照子さん

電話六四〇番

皆様のタクシーへ

此度は夏にふさはしい新車が入車致しました。自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー

電話六四〇番

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル

新型子供ボート各種

このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えしました

特色

電話一四〇番

制覇の凱歌何處?

大會譽れの十七校選手

地方スポーツ界の待望超豪華版—第十三回縣下中等學校野球大會は全縣下の視聽をこき平陽の天地に衆め今や早くも興奮の坩堝と化して遂に四日の後に迫つた出場チーム十有七若き選手百六十名は母校の榮譽を「この一戦」に賭して熱と力の全能を傾ける涙ぐましく熱戦は磐中、湯本町營、古河炭礦の二球場に展開されるのだ、制覇の凱歌は何校によつて高らかに唱はれるか三日間の全試合が完了するまで大きな?である、當日晴れのナレアに登る参加十七チームの譽れの選手は左の如く決定した

平商赤坂	沼田會澤	遊撃手	左翼手	中堅手	右翼手
若松商西澤	石原	佐々木	高橋	鈴木	木野
福島商中村	菅間	龍造寺	長尾	小宮	川藤
會津工中	藤部	渡部	飯口	高橋	佐藤
石川中	高木	熊田	山家	津久井	藤間
双葉中	貫原	柳沼	山下	横田	泉田
田村中	上野	高柳	白石	結城	遠藤
安達中	本村	高橋	藤野	三浦	朝倉
白河中	菊地	三節	谷瀧	森田	朝倉
保原中	成田	佐藤	石井	佐藤	阿部
喜多方中	川瀨	後藤	青山	小原	遠藤
會津中	吉川	荒川	野山	原野	藤部
相馬中	中川	増田	高橋	佐藤	阿部
磐城	中野	佐藤	鈴木	早川	森岡
安積	中藤	小野	原野	野村	
福島師範	吉田	藤田	阿部	木村	

夏休中に産業調査

優秀な者には商友會賞

平商では例年通り今年も夏休中四、五年生に對し郷土に於ける産業を調査せしむる事になつたが調査範囲は左の如くにて優秀なものには商友會より各賞金が授與される筈である

炭礦、農村の經濟、農業倉庫、清酒醸造業の消長

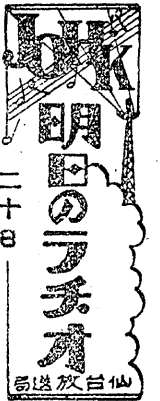
醬油醸造業並に自家用醬油、魚粕の研究、石城米の配給組織

計量器商會合 縣下聯合總會は来る二十五日小名濱町に於て開かれ縣下各地の組合員百二十名出席、

計量器並に度量衡商組合の聯合總會は来る二十五日小名濱町に於て開かれ縣下各地の組合員百二十名出席、

七年度決算、九年度豫算、商業組合法による組合設立に關して協議を行ふと

矢崎技手講演 神谷村縣農事試験分場矢ヶ崎技手は来る二十三日春町に開かれる田村郡農會主催の農民講座に出席、秋蒔蔬菜の講演を試みる、尙二十六日には浪江町農會主催の農事講演會にも同様講演する由



今晩も明日も北東の風暴

今晚の部
 後六〇〇(子供の時間)
 お話「金魚の飼ひ方」
 日暮 忠
 後七、三〇 講演「戦時通商の保護と海洋の管制」
 吳海軍鎮守府參謀長 海軍少將佳山徳太郎
 後八、〇〇 謡曲「高野物語」
 狂「東京水道橋實生會能樂堂より中繼」
 後八、四〇 小唄 春日とよ藤
 後八、五五 ビデオと管絃樂 大阪放送交響樂團 指揮 ヨセフラスカ
 後九、三〇 時報ニュース

体育ダンス講習

一般希望者の來會歡迎

女教員會が主催

石城女教員會では来る八月七日より三日間毎日午前八時より午後四時迄平第二小學校講堂に於て体育ダンスの講習會を開催するが講師は文務省体育教材檢定委員として廣く全国的に教育的體育ダンスの統制に盡力されてゐる澁井二夫氏で會費は一圓、一般希望者の來會を歡迎する由

舞踊の夕上演種目

各學年別が決定した

既報来る二十八日午後七時より講堂に於て舞踊の夕を催す事になつた平第二校では過般來各係指導指導の下に練習中であつたが本日各學年の上演種目を左の如く決定した

(一年)「唱遊」螢 せんこ
 花火劇「すめ(二ノ一)」「唱遊」あの道小路 ひばりもちひき(二ノ二)折紙魚やさん(二ノ三)イギリス水兵 鳩さん 水車
 (三ノ一)「律動遊」てふ(三ノ二)「唱遊」田植

一家から

軍人三名

石城郡の左記十三名は一家から三名の軍人を出した譽れの家として今日陸軍大

氣象通報 番組豫告
 明日の部
 前六、三〇 基礎英語講座(四五)岡倉由三郎
 前七、二〇 聖典講義(五)加藤咄堂
 前九、一〇 料理献立「ドーナツ」佐藤百合子
 前一〇、三五 家庭講座「夏期小兒衛生」(二)醫學博士 吉田松一
 後〇、〇五 ギターとフルート獨奏 高橋切
 後一、〇〇 全國高等専門野球東北北海道豫選(仙)

臺スポーツマン球場中繼
 後二、〇〇 家庭婦人講座「國際經濟と物價」經濟博士 服部文四郎
 後六、〇〇 子供の時間「管絃樂」(東京ラヂオオーケストラ)
 後六、二五 基礎佛語講座(三〇)丸山順太郎
 後七、三〇 講演「國防航空の急務」航空本部陸軍中將杉山元
 後八、〇〇 漫談二題 古川縁波
 後八、五〇 少女歌劇喜歌劇傑作 春日野八千代外

按摩さんのカンで

泥的追ひ飛ばさる

平署直ちに捜査網へ

十九日午前三時半頃平町堂ノ前警城訓盲院へ手拭で覆面した怪漢が忍び込み寄宿生所有の箆筒より金品物色中を物音に目覺めた女の按摩さんが騒ぎ立てたので吃驚した賊は一物も得ずして逃走した、訴へにより平署では最近頻發する學校盜難事件に鑑み犯人逮捕に躍起となつて捜査中であるが或は内部の事情に精通した者の處爲ではないかと見られる

△農夫 二十一才 無給
 △商店雜役 二十才 尋卒
 △女中 三十六才 尋卒
 △女事務員 二十才 高女卒
 △土工夫 五十九才 殆んと無學
 △トラック助手 二十才 高三卒
 △外交員 三十一才 高卒
 △日雇労働 二十一才 中四修

平職業紹介所報告

△男女保險外交員(各五名) 回人を求める方

浮名新音頭

(藤野翁上談及上巻)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

— 八七 —

負けられぬ相撲
『決して明日の角力は勝たう勝たうと思はつしやるな負ないやうに』に取んなさい』

『有難う存じます』

長兵衛の云ふ事を傍で聞いて居た金興次兵衛が

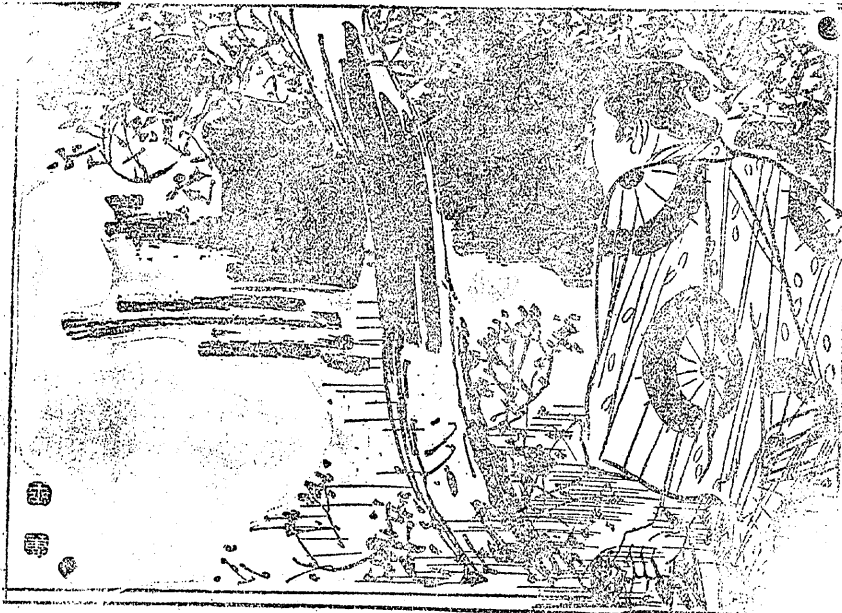
『勝たう』と思はずに取れと云ふのは大事を取れと云ふんで、大事を取れと云ふのは卑怯に取れと云ふんだ、櫻川は自分の方からは仕掛ける角力だから人が最負にする、同じやうに引つ繰返つたときは行司は何方へ團扇を揚げるか知つてるか』

『そりやあ知りませんが先へ手を出した方へ團扇が上るさうで』

『ソレ見なさい、その位のものだから關取が負けりやあ、俺達は十郎左衛門を叩つ斬つて死んじまうと云ふ了簡だ負けるも仕方がないが、まけるなら綺麗にまけなさい、まけたなら莞爾笑つて歸つて来るやうに、大事を取れの卑怯に取るなと云ふのは、見物の最負を落とす原因だ、負けたら敵はとるから綺麗にまけて來なさいよ、必ず卑怯の取方をしちやあならねえ……』

『此りあ悪い事を云つた、氣に障つたら、勘辨して呉れ』
『だが關取、明日あ何卒勝つて呉んなせえ、まけさうになつたら罌丸へでも喰ひ

面倒だと思つたから、長兵衛は子分を一人連れて用達にいってしまふ、酒は禮に始まつて亂に終る、ワツ／＼と騒いで大勢の者に送られて、櫻川は入谷田圃の家へ戻つて來る
『エ阿母さん、唯今戻りました』
『オ、御歸りか、大層今日に出來が好かつたさうだが悦ばしい、嗚呼さんが御悦びでありましたなう、そこで明日は黒鷲團と取組のや



ついで遣つて呉んねえ』

『さう云ふと懺かでないから興次兵衛さん大分今日は酔つてるやうだから寝なさい』

『寝るなんてえのは禁物だ今夜あ立て、酒エ飲みます』

うだが左様か』

『私は女の事で知つた事ではないが、お前斯うして小袖に包まつて、親方とか關取とか、云れるになつたのは、皆んな長兵衛さんの御蔭だ、明日の氣力が萬一ま

けでもすると云ふと皆さんが力を落しなされるだらうと思つて妻は夫が心配で堪りませんだが餅屋へ餅を誂へるやうには行きません先方は年來の關取、お前は昨日一昨日の成上り、却々骨も折れやうが、まけないやうに取つて下さい』

『オ、御歸りか、大層今日に出來が好かつたさうだが悦ばしい、嗚呼さんが御悦びでありましたなう、そこで明日は黒鷲團と取組のや

『それなれば好いが……サ、また明日も早からうから引取らつしやるやうに……』
自分の寢所へ立歸つて蒲團の上へテツクリ座り

『ハテ黒鷲が右を差したらこうしやう、左を差したらかうしやう、かう組んで來たらかうしやう』

と色々考へて居たが
『かうなりあ、神様佛様の神力を借りて勝つより仕方がない』

と浴衣一枚で手拭ひを持つて密と庭の兩戸を開けて見ると、入谷田圃の吹ッ拂ひビュー／＼と云ふ北風は肌を裂く様、飛石を傳はつて來ると向みの植込の傍に清水の吹出る井戸がある。

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は生命なり

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
平町田町 電話五八番

新
鯉節漬
魚問屋
店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

夏!!!
道歩く紳士の足もと
は白靴にかゝやく!

既製菊地靴カバン店
電話六五九番

既製菊地靴カバン店
電話六五九番

既製菊地靴カバン店
電話六五九番

玉屋洋品店
平町田町通電話六五九番

●店員募集
年齢十五、二十、三十、四十、五十、六十、七十、八十、九十、百歳、希望者は至急來店あれ